

取扱説明書

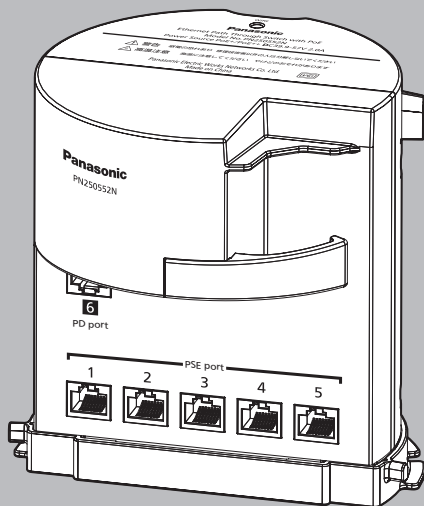
CiLIN-5PoE+PD

5ポート PoE+(受電タイプ)

品番 PN250552N

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
- いかなる場合でも、お客様で本体を分解した場合には、保証対象外となります。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書(CLI編、WEB編、Menu編)、保証書、最新ファームウェアおよびSDNアプリケーション(ZEQUO assist Plus)は下記URLよりダウンロードいただけます。

<https://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/download/index.html>



パナソニックEWネットワークス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目12番7号

© Panasonic Electric Works Networks Co., Ltd. 2022

C 0 4 2 1 - 1 0 1 2 2

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



禁止

- PoE 規格 IEEE802.3af/at/bt (DC39.9-57V) に対応したスイッチングハブ以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因になるおそれがあります。
- この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- ぬれた手でツイストペアケーブルを抜き差ししない
感電の原因になるおそれがあります。
- ツイストペアポートから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差しこんだり、落とし込んだりしない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所、導電性のほこり、腐食性ガス、可燃性ガスのある場所で保管・使用しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 直射日光の当たる場所や温度の高い場所で、保管・使用しない
内部の温度が上がり、火災の原因になるおそれがあります。
- 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管・使用しない
落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。
- この装置を火に入れない
爆発・火災の原因になるおそれがあります。
- 落下防止ワイヤーを別途「施工説明書」の手順通りに接続する
落下によりけが、故障の原因になるおそれがあります。
- 高所作業は資格者が行う
工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因になるおそれがあります。
- 質量に耐える場所に取り付ける
取付場所の強度が不十分なとき、落下などでけがや事故の原因となるおそれがあります。
- 使用しなくなった、あるいは使用不可になった場合、放置せず取り外す
種々の部品の腐敗により、落下の原因となります。

注意



- ツイストペアポートで手などを切らないよう注意の上取り扱う
 - IEEE802.3at/bt 対応の給電・受電機器を本装置に接続する場合、Cat5e または Cat6 のケーブルを使用する
上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になるおそれがあります。
 - この装置は、性能維持のために定期的にメンテナンスをする
製品の管理者を決めていただき、定期的なメンテナンスを必ず実施してください。メンテナンス時に確認が必要な項目を列挙した点検表は、当社ホームページに掲載しております。
 - この装置を使用してシステムを設計する場合、冗長化構成を組むなど適切な処置を講じた上で使用する
使用中の故障・誤動作などの要因により、通信障害が発生する場合があります。
 - この装置を極めて高い信頼性が必要とされる用途に使用する場合には、安全性、信頼性の確保に万全を期するよう注意する
極めて高い信頼性が必要とされる用途（鉄道、航空、医療用等での使用のうち、通信障害による影響度が極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム）に使用されることを意図した設計・製造はされていません。
 - この装置のツイストペアポート側への避雷器（SPD）の設置を強く推奨する
落雷の影響による過電流・過電圧が故障の原因になるおそれがあります。
 - この装置は、設置後 5 年程度での交換を推奨する
稼働率、使用環境などの条件により異なりますが、部品の経年劣化等により、性能が低下することがあります。本体の交換時には、天井取付用ブラケットも必ず交換してください。
 - この装置を使用できる環境の制限に注意する
- ①商用電源線と通信線を隔離してください。一般社団法人日本電気協会発行の内線規程に記載のとおり、配線と他の配線または弱電流電線、光ファイバケーブル、金属製水管、ガス管などと隔離してください。通信線にノイズが生じ、通信不具合の原因になるおそれがあります。
 - ②VCCI クラス A 情報技術装置については、家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 天井板の破壊に注意する
挟み込み金具を締めすぎると、天井板を破壊するおそれがあります。設置方法については、施工説明書をご確認ください。

落雷の影響による故障の対策についての重要なお願い

- ネットワークカメラや無線アクセスポイントなど落雷による影響を受ける可能性がある機器（特に屋外設置機器）を、この装置のツイストペアポートに接続する場合、落雷による過電流・過電圧がツイストペアケーブルを通じてこの装置に伝わり、故障の原因となることがあります。このような機器を接続される場合、この装置のツイストペアポート側に避雷器（SPD）を設置されることを強く推奨いたします。
- 保証書に記載の製品保証規定にもありますとおり、この装置の落雷の影響による故障の保証は、保証期間内におきましても有料とさせていただきます。

使用上のご注意

- 内部の点検・診断は販売店にご依頼ください。
- この装置を設置・移動する際は、ツイストペアケーブルを外してください。
- この装置を清掃する際は、ツイストペアケーブルを外してください。
- 仕様限界をこえると誤動作の原因になるおそれがありますので、ご注意ください。
- ケーブルを接続する際は、装置本体を押さえて接続してください。
- RJ45コネクタ(ツイストペアポート)の金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。静電気により故障の原因になるおそれがあります。
- 落下など強い衝撃を与えないでください。故障の原因になるおそれがあります。
- 周囲の温度が0～50℃の場所でお使いください。
また、以下場所での保管・使用はしないでください。
(仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)
 - 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
 - 静電気障害のおそれのある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
 - 振動・衝撃が強い場所上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因になるおそれがあり、保証致しかねますのでご注意ください。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しないでください。
- この装置の本体の周辺は密閉せず、放熱のために十分な空間を設けてください。
内部に熱がこもり誤動作の原因になるおそれがあります。
- この装置に長時間身体に触れさせないでください。低温やけどのおそれがあります。
- この装置を水平な天井以外には設置しないでください。
- この装置を3台以上カスケード接続させないでください。
故障の原因になるおそれがあります。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害およびこの装置の使用または使用不能に関して発生したいかなる損害（逸失利益、機会損失等を含みますがこれらに限らないものとします）もその責を一切負わないものとしますので、ご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

1 製品概要

天井スイッチは、10/100/1000BASE-T対応ポートを6ポート有する、管理機能付きイーサネットスイッチングハブです。

ポート6はIEEE802.3af/at/bt対応給電機器からのPoE受電機能をサポートしています。ポート1～5はIEEE802.3af/at対応受電機器へのPoE給電機能をサポートしています。

1.1 特 徴

- ポート6はIEEE802.3af/at/bt対応給電機器からPoE受電が可能で、PoE受電により起動、動作します。
- ポート6でIEEE802.3bt対応給電機器からPoE受電した場合、ポート1～5はIEEE802.3at対応受電機器へのPoE給電（PoEパススルー）が可能です。1ポートあたり最大30W、装置全体で最大48WのPoE給電が可能です。
- PoEオートリブート機能を搭載しており、Ping、LLDP、トラフィック量の3方式により監視、対象ポートの給電OFF/ONが可能です。
- ファンレス設計により、騒音やファン障害などの問題がありません。
- すべてのツイストペアポートがストレート/クロスケーブル自動判別機能を搭載しています。端末、ネットワーク機器の区別を意識せず、ストレートケーブルを用いて相互接続できます。（ポート通信条件を固定した場合 / リンクアグリゲーションを設定した場合、本機能は動作しません。また工場出荷時に、ループ防止のために、ポート1～5はMDI-X固定に設定してあります。）
- 省電力モードの搭載により、ポートごとの接続状態を検知し、リンクアップしていないときに電力消費を必要量に抑えることが可能です。（工場出荷時：無効）
- IEEE802.1pに対応したQoS機能をサポートしています。
- ループ検知・遮断機能により、ループが発生した場合はポートを自動的に遮断し、ループ障害の発生を防ぐことが可能です。また、ポートの遮断および自動復旧の際、システムログを送出でき、管理者に通知することが可能です。さらに本体LEDでのループ発生通知や設定画面上からの発生履歴の参照によってループが発生したポートの特定が可能です。
- PoEスケジューラ機能により、PoEの給電制御をスケジューリング可能です。
- ZEQUO assist Plusに対応しており、導入からメンテナンスまで簡単に実施することができま。
- PPSP（Power to Progress SDN Protocol）を搭載しており、PPSアプリケーション（別売）から、この装置の管理、運用が行えます。

1 製品概要

1.2 主な仕様

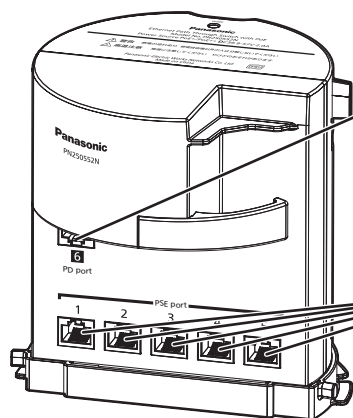
インターフェース	ツイストペアポート 1 ～ 6 RJ45 コネクタ 伝送方式 IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T
スイッチング仕様	ストア & フォワード方式 MAC アドレステーブル 2K エントリー / ユニット アドレス自動学習・自動フィルタリング フロー制御 : IEEE802.3x (全二重時) バッファ 256K バイト
受電機能	ポート6で、IEEE802.3af/at/bt対応給電機器からのPoE受電機能をサポート ポート最大95Wまで受電可能 IEEE802.3af/at : Alternative A (1,2,3,6ピン使用)、Alternative B (4,5,7,8ピン使用) IEEE802.3bt : Alternative A,B (1～8ピン使用)
給電機能	ポート1～5でIEEE802.3af/at対応の給電機能をサポート 各ポート最大30Wまで給電可能 IEEE802.3at/af : Alternative A (1,2,3,6ピン使用)
電源	PoE給電IEEE802.3bt(PoE++)/IEEE802.3at(PoE+)/IEEE802.3af(PoE) DC39.9V-57V 2000mA
消費電力	定常時最大 74.0W (非給電時 7.0W) 、最小 5.8W
動作環境	温度 0 ～ 50℃ 湿度 20 ～ 80%RH (結露なきこと)
保管環境	温度 -20 ～ 70℃ 湿度 10 ～ 90%RH (結露なきこと)
ファン	無
外形寸法	本体:H142mm×Φ123mm(突起部は除く) 天井取付用ブラケット:H52mm×Φ168mm(突起部は除く) ※天井穴はΦ150mmの開口必要
質量 { 重量 }	本体:780g 天井取付用ブラケット:300g
適合規制	一般財団法人 VCCI 協会 クラス A 情報技術装置 VCCI Council Class A

1.3 付属品

必ずお確かめください。もし、内容物に不足があった場合は販売店にご連絡ください。

- 天井取付用ブラケット 1個
- フェイスプレート 1個
- 施工説明書 1冊
- 落下防止ワイヤー 1本
- イタズラ防止ネジ (フェイスプレートに添付) 2本
- MAC/製造番号ラベル (施工用) 各1枚

2 各部の名称と機能



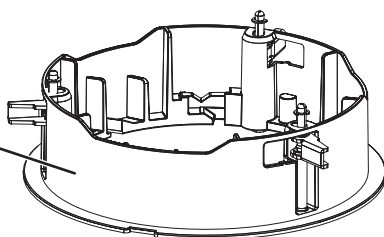
6: PD port

●ツイストペアポート PoE++ 受電ポート
IEEE802.3af/at/bt 対応給電機器からの PoE 受電が可能です。
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応 PoE 給電機器、PoE スイッチングハブなどを接続します。

1-5: PSE port

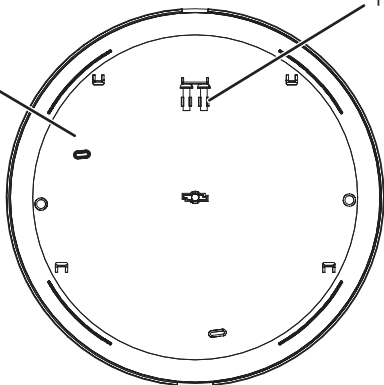
●ツイストペアポート PoE+ 給電ポート
IEEE802.3af/at 対応機器への給電が可能です。
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 端末を接続します。

天井取付用
ブラケット

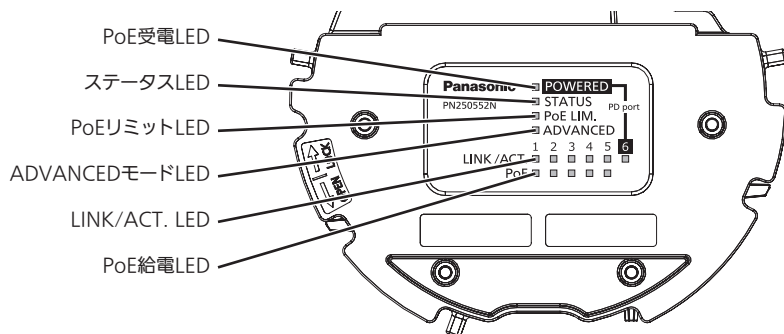


フェイスプレート

イタズラ防止ネジ



2 各部の名称と機能



●PoE受電LED

緑点灯: 正常にIEEE802.3af/at/btで受電
消灯: IEEE802.3af/at/btで受電していない

●ステータスLED

消灯: 正常動作(工場出荷時)
緑点滅: PoEオーバーロード
橙点滅: システム障害

●PoEリミットLED

消灯: 正常動作
緑点灯: 装置全体で利用できる給電量が4W未満
緑点滅: PoE給電のオーバーロード

●ADVANCEDモード LED

消灯: BASICモードで動作中
点滅: ADVANCEDモードで動作中
※PoE受電、給電の関係及び、ADVANCEDモードの詳細はP.10をご確認ください。

●LINK/ACT.(ポート 1~6) LED

緑点灯: 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
で接続
緑点滅: 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
で送受信
橙点灯: ループ検知・遮断機能/ストームコントロール
により遮断中
橙点滅: 管理パケットのみ送受信中

●PoE給電(ポート1~5) LED

緑点灯: 正常にPoE給電
消灯: 給電していない、もしくはPoE受電機器未接続
橙点灯: PoE給電のオーバーロード

●ループ検知・遮断機能、ループヒストリー機能について

ループが発生したポートのLINK/ACT. LEDを橙点灯でお知らせします。

ループ遮断モードには以下の2種類のモードがあります。

・ブロックモード（工場出荷時）

ループ検知時は、自動的にポートのステータスをブロッキングにし、ループ検知パケットを含む特定のパケットのみ送受信を行います。

・シャットダウンモード

ループ検知時は、自動的にポートをリンクダウンし、すべてのパケットの送受信を行いません。

※設定した復旧時間の30 秒前より自動的にループ検知パケットのみ送受信を行います。

●PoEリミットLEDが緑点滅（装置全体のオーバーロード）しているときの給電動作

装置全体の要求給電電力を超えてオーバーロードになった場合、優先順位の低いポートの給電が停止し、給電を停止したポートのPoE LEDとPoEリミットLEDが緑点滅します。

給電の優先順位設定はWeb画面から設定・変更することが可能です。

*設定・管理方法については、当社HPより取扱説明書（CLI/WEB/Menu）をご参照ください。

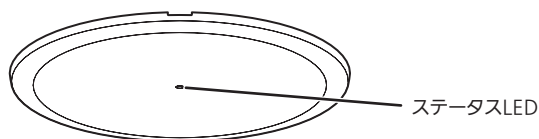
●ポート単体でオーバーロードしているときの給電動作

ポート単体で30Wを超える給電を要求されたときはオーバーロードとなり、ポートのPoE LEDが橙点滅し、給電を停止します。

橙点滅しているポートのケーブルを抜いて、接続したPoE受電機器の仕様をご確認ください。

ご注意：PoE受電機器によっては、通常使用時と最大消費電力時で消費電力が大幅に異なる場合がありますので、最大給電電力を超えないよう構成してください。

- ・ステータスLEDは、フェイスプレートを取り付けた状態でも表示を確認することができるため、異常が発生したデバイスを取り外しを行うことなく判別することが可能です。また、Web画面から常時緑点灯させることも可能です。



3 PoE給電仕様

- ・この装置には電源スイッチがありません。IEEE802.3btまたはIEEE802.3atまたはIEEE802.3af(Class3)対応給電機器からのツイストペアケーブルをポート6（PDポート）に差し込むだけで使用いただけます。
- ・この装置はPoE受電により起動・動作します。接続された給電機器の電力Classを自動で検出し、受電電力に応じた給電を開始します。
- ・IEEE802.3at(Type1)/IEEE802.3af対応給電機器で受電した場合、この製品から給電を行わず、通常の10/100/1000BASE-Tポートとして動作します。また、Class1、Class2の電力では動作しません。

BASICモード（工場出荷時）

IEEE802.3af/at/btで規定されている電力Classと、本製品の給電量の関係は下表に示します。

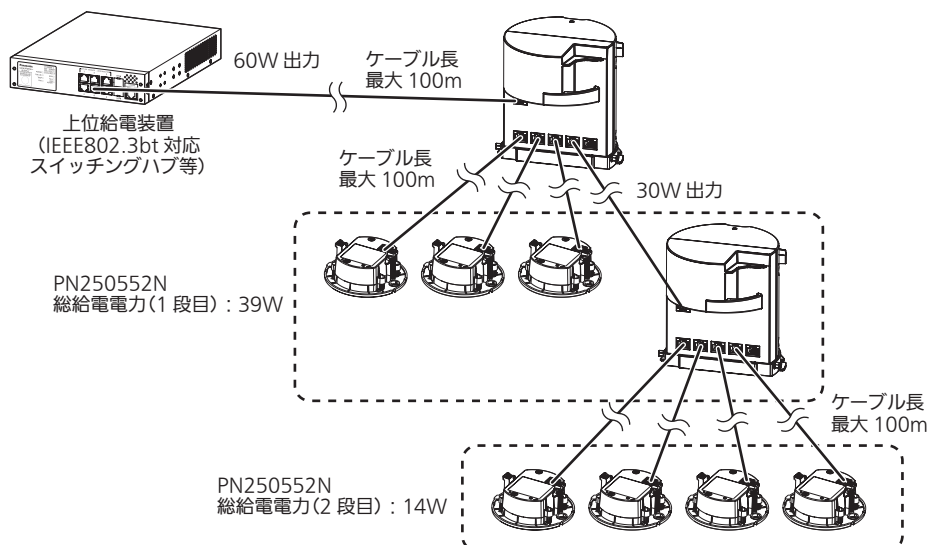
上位給電機器の最大給電電力は、Cat5以上のLANケーブルを使用した場合のIEEE規格値です。

上位給電機器の最大給電電力 （検知Class）	14W （Class3）	30W （Class4）	60W （Class6）	75W （Class8）
PN250552N 総給電電力	PoE給電不可	16W	39W	48W

⚠ 注意

- ・Cat6A以上のケーブルは使用しないでください。通信障害が起こる可能性があります。
- ・2台を超えるカスケードは故障の原因になるため接続しないでください。

接続例：給電装置と Class6 で接続した場合



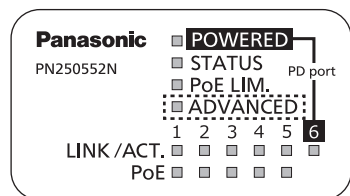
ADVANCEDモード設定

各ポートの使用可能な電力を固定し効率的な電力消費をすることで、最大60Wまで給電することが可能となるADVANCEDモードを搭載しています。

- ・ADVANCEDモードは、以下の5つのモードから選択できます。
- ・PoE給電無効ポートは、通常の10/100/1000BASE-Tポートとして動作します。
- ・ADVANCEDモード4,5に設定する場合は、必ず当社PoE++スイッチングハブのポート最大給電電力量を95Wに設定してください。給電電力量が足りずに、上位給電機器のポートがオーバーロードすることがあります。95Wモードへの設定方法は、当社PoE++スイッチングハブの取扱説明書をご確認ください。

モード設定	ポートごとの最大給電電力量					総給電電力
	ポート1	ポート2	ポート3	ポート4	ポート5	
BASIC(工場出荷時)	30W	30W	30W	30W	30W	48W
ADVANCED 1	14W	14W	7W	7W	7W	49W
ADVANCED 2	14W	14W	14W	14W	PoE給電無効	56W
ADVANCED 3	30W	7W	7W	7W	PoE給電無効	51W
ADVANCED 4	30W	14W	14W	PoE給電無効	PoE給電無効	58W※
ADVANCED 5	30W	30W	PoE給電無効	PoE給電無効	PoE給電無効	60W※

※当社PoE++スイッチングハブのポート最大給電電力量 95Wの設定が必要です。



また、各モードにより、この製品の下面にあるADVANCED LEDの動作が変化します。

- ・ADVANCED 1: 3秒ごとに1回緑点減します。
- ・ADVANCED 2: 3秒ごとに2回緑点減します。
- ・ADVANCED 3: 3秒ごとに3回緑点減します。
- ・ADVANCED 4: 3秒ごとに4回緑点減します。
- ・ADVANCED 5: 3秒ごとに5回緑点減します。

ガードバンド機能

- ・この装置全体を給電停止させないために、残りの給電電力が4W未満になった場合に、新たに接続された受電機器への給電を拒否します。



注意

本製品に接続する受電機器のPoE Classまたは消費電力の最大値をご確認いただき、必ず最大給電電力内でネットワークを構築してください。

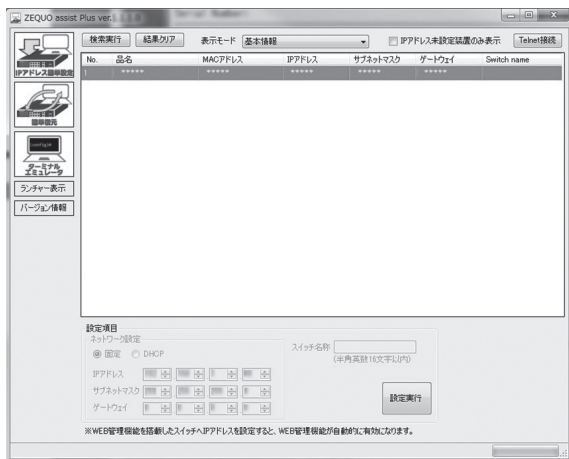
4 設 定

4.1 IPアドレスの設定（簡易）

- (1) 当社HPからZEQUO assist Plusをインストールします。
- (2) ZEQUO assist Plusをインストールしたパソコンと本機をツイストペアケーブルで直接接続するか、L3スイッチ・ルータなどを經由しないブロードキャストドメイン内のTCP/IPネットワークにパソコンと本機を接続し、ZEQUO assist Plusを起動します。
- (3) 画面左側の一覧より「IPアドレス簡単設定」ボタンをクリックすると、画面1の画面が表示されます。
- (4) 「検索実行」ボタンを押すと、スイッチングハブの検索が開始され、数秒後に検出されたスイッチングハブの一覧が表示されます。（画面2）
- (5) 検出されたスイッチングハブの一覧から設定を実行したい装置を選択し、画面下部の設定項目入力欄にてネットワーク設定、スイッチ名称などの設定項目を入力します。（画面3）
- (6) 設定項目を入力したうえ「設定実行」ボタンを押すと、画面4のように確認画面が表示されます。設定を実行する場合は「はい」を、取り消す場合は「いいえ」を押してください。
- (7) 設定が正しく装置に反映されると、画面5の完了メッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は再度検索を実施いただくか、ネットワークの確認を行ってください。



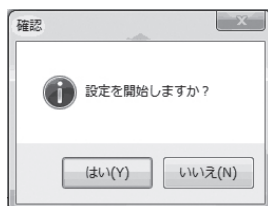
画面1



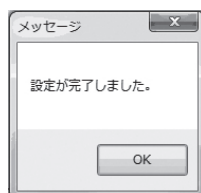
画面2



画面3



画面4



画面5

*設定・管理方法については、当社 HP より 取扱説明書（CLI/WEB/Menu）をご参照ください。

故障かな？と思ったら

故障かなと思った場合には、まず下記の項目に従って確認してください。

◆LED

PoE受電（POWERED）LEDが点灯しない場合

- ポート6のツイストペアケーブルが外れていませんか？
確実に接続されているか確認してください。
- ポート6に接続しているPoE給電機器はIEEE802.3af/at/btのいずれかの規格に対応していますか？
- STPケーブルを使用していると、設置環境によってはPoE受電できない場合があります。その場合は、UTPケーブルをご使用ください。
- 動作環境温度を0～50℃の場所で使用していますか？
動作環境温度の範囲内でお使いください。

LINK/ACT. LEDが橙点灯した場合

- ループが発生しています。ループを解除することにより橙点灯が消えます。

LINK/ACT. LEDが点灯しない場合

- ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？
- ケーブル類は適切なものを使用していますか？
- 該当するポートに接続している端末は10BASE-T、100BASE-TX、もしくは1000BASE-T全二重対応ですか？
- オート・ネゴシエーションで失敗している場合があります。
端末の設定をオート・ネゴシエーションに設定してください。

◆PoE給電ができない場合

PoE 受電機器に給電しない場合

- ポート6に接続しているPoE給電機器はIEEE802.3at（Type2）またはIEEE802.3bt規格に対応していますか？
- PoE 給電機能をサポートするポート1～5に接続していますか？
ポート1～5のPoE給電LEDが緑点灯していることを確認してください。
- ポート1～5に接続しているPoE受電機器はIEEE802.3at規格、または、IEEE802.3af規格に対応していますか？
- Cat5eまたはCat6のストレートケーブル（8極8芯）を使用していますか？
- STPケーブルを使用していると、設置環境によってはPoE給電できない場合があります。
その場合は、UTPケーブルをご使用ください。
- ポート単体でオーバーロードしていませんか？
- ADVANCEDモード設定により、PoE給電機能が無効になっているポートに接続していませんか？

PoE LIM. LEDが緑点灯している場合

- ポート1～5に接続されたPoE受電機器が要求する給電電力が30Wを超えていませんか？
- PoE受電機器の要求する給電電力がこの製品の供給可能電力を超えていませんか？
Web画面にて電力量をご確認ください。

急に給電が止まった場合

- ポート単体がオーバーロードしていないこと（PoE LEDが橙点滅していないこと）、もしくは装置全体の給電電力を超えていない（PoEリミットLED、またはステータスLEDが緑点滅していないこと）をご確認ください。

◆通信が遅い場合

- 接続機器の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか？
通信モードを示す適切な信号が得られない場合は、リンクダウンします。
オート・ネゴシエーションの設定を再確認してください。
- この装置を接続しているネットワークの使用率が高過ぎませんか？
ネットワークからこの装置を分離してみてください。

◆通信ができない場合

- リンクアップしていますか？
接続機器の省電力モードやEEE（IEEE802.3az、省電力型イーサネット機能）が有効な場合、接続機器によっては、リンクしない場合があります。
以下の通り、接続機器の設定を変更してください。
 1. 省電力モードの設定を「Half」または「Disabled」に変更
 2. EEE（IEEE802.3az）の設定を「Disabled」に変更
- LINK/ACT. LEDが橙点灯していませんか？
LINK/ACT. LEDが橙点灯している場合、そのポートはループ検知・遮断機能によりポートを遮断しています。ポート配下のループ接続を解消後、ループ検知・遮断の自動復旧までのリカバリ時間以上の間待機するか、設定画面からポート遮断を解除してください。

■保証とアフターサービス (よくお読みください)

1.保証書について

保証書は弊社ホームページからダウンロードしていただき、必ず保証書の『お買い上げ日、販売店(会社)名』などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

2.故障時の対応について

『故障かな?と思ったら』に従って調べていただき、異常がある場合は、お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてご連絡ください。

- ◆品名 CiLIN-5PoE+PD ◆品番 PN250552N
- ◆製造番号(本体底面に貼付されている定格ラベル上の11桁の番号)
- ◆異常の状況をできるだけ具体的にお伝えください。

- 保証期間中は、保証書の規定に従い製品交換をさせていただきます。お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは、診断結果に応じて、ご希望により有償で製品交換させていただきます。製造終了等の理由により、製品交換をお引き受けできないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

3.アフターサービス・製品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニックEWネットワークス株式会社

TEL 03-6402-5301 FAX 03-6402-5304

4.ご購入後の技術的なお問い合わせ

■商品をご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。

IP 電話(050 番号)からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。

フリーダイヤル



0120-312-712

受付 9:30 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日、および弊社休日を除く)

弊社ホームページによくあるご質問(FAQ)および設定例を掲載しておりますのでご活用ください。ご不明点が解決できない場合は、ホームページのサポート内容をご確認の上、お問い合わせください。

URL:<http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/index.html>

なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いいたします。

URL:<http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/resume/guideline/index.html>